

日本経営学会第67回大会……………	1	新入会員・復活会員・退会会員……………	4
会員総会における報告事項……………	1	平成4年度決算・平成5年度予算……………	8
会員総会における決定事項……………	2	住所、所属機関等変更・訂正一覧……………	9
事務連絡事項……………	3		

日本経営学会第67回大会

日本経営学会第67回大会は、平成5年9月11日から14日にかけて、和歌山大学で開催されました。この大会の会員総会における報告事項と決定事項は次のとおりです。

〔1〕 会員総会における報告事項

1. 会員の異動について

前回の大会から今回の大会までの間の会員の異動は表1-1から表2-4に示したとおりです。この結果、本会の会員数は1,996名、その部会別内訳は表2-5のようになりました。

2. 第68回大会の統一論題について

9月11日の理事会でプログラム委員会の提案が検討された結果、第68回大会の統一論題を『現代企業と社会』とし、「地域振興と企業経営」、「企業倫理と経営行動」という2つの柱を設けることが決定されました。なお、会員総会で、二神恭一プログラム委員長からこの統一論題の趣旨についての説明が行われました。

3. 機関誌問題検討委員会からの理事長宛答申とそれに基づく理事長提案について

機関誌問題検討委員会村田委員長より理事長宛答申が本年6月末に提出されたこと、ならびに「答申」の趣旨が報告され、この答申を受けて作成された下記のような「機関誌発行に関する基本方針」に基づいて機関誌を刊行するという理事長提案が紹介されました。また、この提案の取扱いについては、来年3月末までの間に各部会で会員からこの提案について意見を聞き、その結果この提案を支持する意見が強ければ、来年の会員総会に、この「方針」に基づく機関誌刊行の具体案を提案することが理事会で決定されたとの報告がありました。

記

機関誌発行に関する基本方針

- 1) 会員の自由な研究成果発表の場として、厳正なレフリーストリー制度を基礎とする機関誌を刊行する。
- 2) この機関誌は、レフリーストリーによる判定を経た会員の自由投稿原稿を主体として編集される。

- 3) レフリー制度は、公正なレフリーによる掲載可否の判定を通じて機関誌の水準の維持向上を図ると同時に、投稿された原稿に対するレフリーの内容改善提案を通じて投稿者の研究のより良い発展に資することを目的とする。
 - 4) 機関誌はB5判、1号あたり100ページ前後とし、年2回の発行を目指す当初は年1回となることもありうる。
 - 5) 機関誌発行に要する費用は会費によって賄うこととし、年2回の発行を想定して会費を年額3,000円引き上げる。ただし、機関誌発行の財源を安定させるために、この会費値上げによって生ずる収入増分はすべて機関誌発行勘定(仮称)に計上して、その使途を機関誌発行関係の支出に限定する。
4. 日本学術会議経営学研究連絡委員の推薦について
本会では、昨年10月、表記の委員として森本隆男氏を推薦しました。
 5. 日本学術会議による国際会議への派遣候補者について
1993年度日本学術会議による国際会議への派遣について、本会では、ドイツを中心とする国際経営学会への派遣候補者として森本隆男氏を推薦し、その結果同氏が、学術会議より、本年5月にドイツのシュツットガルトで開催された国際経営学会へ派遣されました。会員総会で森本氏から、その会議の様様についての報告がありました。
 6. 経営学会国際連合評議委員会への委員派遣について
本年6月11日にパリで開催された表記の会議へ、本会からは国際関係担当理事で経営学会国際連合評議委員の稲村毅氏が派遣されました。
 7. 経営学会国際連合アメリカ大会の日本代表プログラム委員について
経営学会国際連合アメリカ大会組織委員会より本会に対して、日本側のプログラム委員1名の推薦が要請され、本会からは森昭夫理事がプログラム委員に指名されました。
 8. 経営学会国際連合日本代表評議委員の交替について
理事会で表記の委員の次のような交替が承認されました。
田島壯幸理事長より二神恭一理事へ。田島理事長の在外研修のため。

〔2〕 会員総会における決定事項

1. 平成4年度決算について
平成4年度決算の理事会案が承認されました。(表-3)
2. 平成5年度予算について
平成5年度予算の理事会案が承認されました。(表-4)
なお、この予算に関連して、郵便料金値上げを初めとする経費増のために、現行の年額6,000円の会費では次年度以降の支出を賄うことができなくなるという事情が説明され、理事会では「会費値上げ案」(来年度から会費を年額1,000円引き上げる)について各部会で会員の意見を聞くことが決定されたとの報告がありました。

3. 第69回大会当番校について

第69回大会の当番校を大阪経済大学にお願いするという理事会案が承認されました。

なお、会員総会の後に第69回大会プログラム委員会の委員として次の各氏が選出されました。(◎印－委員長)

当番校側委員：上田 慧 濱本 泰
理事会側委員：市村 昭三 片岡 信之
佐野 守 ◎島袋 嘉昌
森 昭夫

4. 「国際学会活動基金」の設定について

経営学会国際連合の設立と東京大会開催のために活用されてきた「経営学会神戸シンポジウム基金」の残金6,681,066円をもって「国際学会活動基金」を設け、本会の国際学会活動のための支出をそこから賄うことにするという理事会案が承認されました。

5. 日本学術会議第16期会員候補者の推薦について

田島理事長より、表記の候補者として本会から推薦を受けるために所定の期日までに立候補の届けを出した会員は木元進一郎、二神恭一、森昭夫の3氏であることが報告された上で、立候補者数が本会の推薦予定数と等しいので総会における投票は省略してこの3氏を本会の候補者として推薦することにしたいとの理事会案が提案され、その提案が了承されました。

なお、学術会議第16期会員選挙に関する本会選出の推薦人の選出は、本会の規定にしたがって理事会で行われましたが、その結果が次のように報告されました。日本学術会議の決定する推薦人割当数に応じて、得票上位者から本会選出の推薦人として学術会議へ推薦されることとなります。

推薦人候補者選挙結果（得票順上位5名）

1. 佐野 守 2. 市村 昭三 3. 阪柳 豊秋
4. 村田 和彦 5. 高橋 俊夫

-----* * *

〔事務連絡事項〕

- * 本会への入会申込については、「大学、短大で経営学、商学およびその関連分野の専任教員の職にある者、これらの分野の大学院博士後期課程に在学している者の入会申込は従来通り（大会の1月前までに申込むこと）とし、それ以外の者の入会申込に際しては、予め研究業績の添付を求め、大会の半年前に申込を締め切って、実質的な業績審査を行う」ことになっておりますので、ご注意下さい。
- * 平成2年度より会費は6,000円になっています。会費未納の方は、同封の振替用紙にて、すみやかにご送金下さるようお願いいたします。
- * 会員名簿記載事項が実情と相違する場合には、文書の郵送その他学会事務の処理に支障をきたしますので、その変更、特に住所の変更がありました場合には、すみやかに本部宛ご連絡下さい。
- * 学会事務所の事務員の勤務は、月・水・金曜日の10時から17時まで（ただし12時から13時までは昼休み）ですので、電話連絡に関しましては、月・水・金曜日上記時間帯をお願いいたします。〔TEL 0425-72-1101 内線4864〕